


整理No. 2018-43		労働災害状況調査表			
災害発生日時		2017年 11月 29日(水) 13時00分 頃 天候(雨) 温度(℃)湿度(%)			
災害区分		<input checked="" type="radio"/> 不休災害 <input type="radio"/> 休業災害 (休業: 日)			
被災者	部門	生産部		雇用形態 <input checked="" type="radio"/> 正社員 派遣、契約、その他()	
	年齢	21歳	性別: <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	勤続年数	2年9か月 経験年数 2年9か月
	傷病名	右手関節捻挫			
	傷病部位	右手首			
災害発生状況	設備を稼働させるため工場南側から北側に向かう際にホイスト昇降口付近を移動していた。		状況概略(写真orイラスト)  矢印に方向に移動する際に、ドラム缶に乗って通り抜けようとした。		
	当日は雨でホイスト昇降口付近にドラム缶が通路を塞ぐように置かれていた為、ドラム缶に乗って通り抜けようとしたところ、足を滑らせて、そのまま前向きに転倒して右手を強打した。				
	転倒した当日、翌日は痛みを我慢していたが、痛み腫れとも引かないため、上司に怪我のことを打ち明けて病院で診察を受けた。				
災害の型 [※]		2 転倒			
起因物:		ドラム缶			
原因分類	1.人的要因(man)				
	作業を急いで進めることを優先して、ドラム缶に乗って移動しようとした。				
	2.物に関する要因(machine)				
	雨に濡れたドラム缶に乗った。				
3.環境要因(media)					
通路を塞いでしまうほど、ドラム缶を置いていた。					
4.管理的要因(management)					
移動方法、ドラム缶の置き方ともに作業性を優先しており、安全に対する意識付けが欠けていた。					
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラム缶の上に乗るとどのような危険があるか改めてKY教育を行った。 ・ドラム缶を置ける本数制限をして通路の確保した。 (本数制限場所の路面塗装、歯止め設置、立ち入り防止柵の設置)				
	対策分類 ^{※2)} : 1-6(教育) 、 2-4(危険認識)				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)